

2015年春 全4回

主催：NPO 法人歯科医療情報推進機構  
共催：一般社団法人日本老年歯科医学会 東京支部

# 高齢者歯科医療のシステム理解と実際 後援 厚生労働省

## in Tokyo Medical and Dental University

### 超高齢社会の成立と社会学的問題点

### 加齢による変化

### 高齢患者の有する問題点と対応

### 照会状の書き方

### 診療情報の分析

### プロブレムリストへの反映

### 在宅医療と在宅歯科医療

### 摂食・嚥下リハビリテーション

# <http://www.identali.or.jp>

#### 第1回 2015年2月1日(日)

- 講師：森戸 光彦 先生 (鶴見大学名誉教授)
- I 概説
  - II 超高齢社会の成立と社会学的問題点
    - ・ 超高齢社会の構造、医療・介護・福祉
    - ・ 超高齢社会における歯科医学の役割
  - III 加齢による変化

#### 第2回 2015年2月15日(日)

- 講師：大渡 凡人 先生  
(東京医科歯科大学高齢者歯科学分野 准教授)
- IV-1 高齢患者の有する問題点と対応
    - ・ 高齢患者が有する全身疾患と歯科治療
    - ・ 全身状態の把握と対応
- 講師：森戸 光彦 先生 (鶴見大学名誉教授)
- IV-2 照会状の書き方 (演習)
  - IV-3 診療情報の分析 (演習)
  - IV-4 プロブレムリストへの反映 (演習)

#### 第3回 2015年3月1日(日)

- 講師：飯田 良平 先生  
(鶴見大学歯学部高齢者歯科学講座 助教)
- V-1 在宅医療と在宅歯科医療
  - V-2 在宅歯科医療【各論1】診療分野
  - V-3 在宅歯科医療【各論2】ケア分野

#### 第4回 2015年3月15日(日)

- 講師：戸原 玄 先生  
(東京医科歯科大学高齢者歯科学分野 准教授)
- VI 摂食・嚥下リハビリテーション (入門編)
    - ・ 摂食・嚥下機能の基本的事項
    - ・ 摂食・嚥下機能障害とは
    - ・ 摂食・嚥下リハビリテーションの実際

各回とも  
会 場：東京医科歯科大学 1号館 9階特別講堂  
時 間：10:00 ~ 16:00

参加費用 (各回個別)	IDI 歯科学会会員 IDI-ISM 会員	IDI 友の会会員 日本老年歯科医学会会員	会員以外	一般の方 (歯科医療従事者以外)
歯科医師	10,000 円	12,000 円	20,000 円	7,000 円
その他の歯科医療従事者	7,000 円		10,000 円	

# 2015 年春 高齢者歯科医療のシステム理解と実際 参加申込書

下記にご記入の上、FAXにてお申込みください。その後、IDIから送付する確認書の内容に従ってご入金等の手続きを行ってください。

ふりがな					(学校名)
氏名	出身学校			年卒業	
会員種別	<input type="checkbox"/> IDI 歯科学会/IDI-ISM ・ <input type="checkbox"/> 日本老年歯科医学会 ・ <input type="checkbox"/> IDI 友の会 ・ <input type="checkbox"/> その他				
職業 (職名)	<input type="checkbox"/> 歯科医師 ・ <input type="checkbox"/> 歯科医療従事者 ( ) ・ <input type="checkbox"/> その他 ( )				
受講種別	<input type="checkbox"/> 全4回	<input type="checkbox"/> 第1回	<input type="checkbox"/> 第2回	<input type="checkbox"/> 第3回	<input type="checkbox"/> 第4回
勤務先名					
勤務先住所	〒 -				
受講票送付先	勤務先 ・ 自宅 ・ その他 ( )				
受講票送付先住所 (勤務先と異なる場合)	〒 -				
連絡先	(TEL)			(FAX)	
メールアドレス					

お申込み先 **FAX : 03-5842-5541** (IDI 事務局)

## 歯科医療の発展のために

高齢者歯科医療の現状と最新の知見を学ぶ高齢者歯科学講座。診断に大変有用な嚥下内視鏡検査の実技・実習。実際の介護施設で行う口腔ケアの実践研修会。また、安心・安全な歯科医療の提供、歯科医院経営の安定に資する外来環・歯援施設基準研修会。IDIでは今後も様々な研修会の開催などを通じ、歯科医療の発展に尽くします。特に高齢者歯科医療の分野では、高齢者とその家族の幸せを守るため、現在IDIが推進しているのが**GDP 予防パートナーシップ**です。



## GDP 予防パートナーシップとは

IDI 研修会で高齢者歯科医療の知識と技術を身につけ、IDI が認定した歯科医師・歯科衛生士がパートナー(会員)となった施設へ訪問し、誤嚥性肺炎、胃ろう、認知症を予防する取り組みです。

埼玉県内の施設では、導入後に肺炎の発症率が急減するなど、入所者の QOL 向上のみならず施設経営の安定、職員の満足度や達成感の向上に大きく寄与しています。

※ Gastrosoma (胃ろう) Dementia (認知症) Pneumonia (肺炎)

## GDP 予防パートナーシップの実績

導入後、肺炎発症率が 10%以下に急減しました。  
(2010 年途中から導入した施設)

